



伊藤まさひろ県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

新型コロナ 感染症対策

県民の命を守るためには!

政調会長として党の政策を主導

佐倉市・印旛郡酒々井町選出の伊藤昌弘(いとう・まさひろ)県議は、昨年7月から、新たに自民党千葉県連の政務調査会長の要職に就きました。政調会長は、自民党内では県議会の政策立案を主導する立場にあり、新年度予算案を審議する2月定例会議では、自民党代表質問の作成に当たって、同僚の関政幸県議とも密接に協議し、新型コロナウイルス感染症対策など県政の喫緊の重要課題を取り上げました。関政幸県議の代表質問のうち、主な質疑をご報告します。



関政幸県議(左)と質問内容を話し合う伊藤昌弘県議(写真撮影のためマスクを外しています)

関政幸県議の代表質問から

中小企業の支援策
自民党代表・関県議 新
型コロナウイルス感染症によ
る今回の緊急事態宣言の発
出を受けて、中小企業の経

営者からも「資金繰りが層
厳しくなった」、「この影響が
長期化すれば、休業や廃業
を考えざるを得ない」など
の、悲痛な声が聞こえてい
ます。

企業は大きな影響を受け
ているものと認識していま
す。

県はこれまで、最大40万
円を支給する中小企業再
建支援金について、売上減少
の比較期間の延長や対象拡
大などを行い、約9万8千
件の申請に対し、約231
億円を支給してまいりまし
た。

中小企業の資金繰りを支
援する実質無利子・無担保
の県制度融資についても、
昨年末時点で約3万件、約
5千4百億円の利用があ
り、多くの利用申込者が続
いていることから、昨年12月
までであった申込期限を本
年3月末まで延長したほ
か、無利子となる融資枠を
4千万円から6千万円に拡
大したところです。

新型コロナウイルス感染症
による影響が長期化する
中、大きな影響を受けている
中小企業に対し、どのように
支援を行っていくのか。

医療供給体制の整備
自民党代表・関県議 医
療供給体制等の確保につい
て、発熱患者等に対応する
ための相談・診療・検査体
制の整備と運用状況はどうか。
また、今後どのように
対応していくのか。

また、発熱患者等の検査
については、行政検査の契約
を結んでいる医療機関にお
いて同日現在、1日当たり
18005件の実施が可
能です。今後も、県民の皆
さまが発熱した時などに身
近な医療機関で受診でき
るよう、相談・診療・検査体
制の強化を図ってまいりま
す。

しかしながら、その後も感
染者数の高止まりが続き、
自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

急増する感染者対応
自民党代表・関県議 急
増する感染者に対応する病
床の確保状況はどうか。

症状が出た場合には、直ちに
保健所へ連絡するよう案内
し、入院が必要な場合は、適
切な入院先を確保できるよ
う調整を行っています。

県民の命を守って
いくためにも、対応
病床の確保、また、自宅療養
等をする方の適切なケアは
非常に大切ですので、万全
な体制が取れるよう全力で
取り組んでいきたい。

要望
県民の命を守って
いくためにも、対応
病床の確保、また、自宅療養
等をする方の適切なケアは
非常に大切ですので、万全
な体制が取れるよう全力で
取り組んでいきたい。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

自宅療養者も増加している
ため、新たに臨時医療施設
を開設するとともに、引き
続き病床数の多い病院や、感
染者を受け入れていない医
療機関等への働きかけを強
めることにより、更なる病床
の確保に努めてまいります。

伊藤まさひろ・PROFILE

- 略歴■
- ・昭和30年 佐倉市に生まれる
- ・昭和53年 日本大学法学部卒業
- ・平成7年 佐倉市議会議員当選
- ・平成11年 佐倉市議会議員再選
- ・平成19年 千葉県議会議員当選
- ・平成23年 千葉県議会議員再選
- ・平成27年 千葉県議会議員3選
- ・平成31年 千葉県議会議員4選

- 現職■
- ・自民党千葉県連 政務調査会 会長
- ・日大習志野高校同窓会 会長
- ・佐倉リトルシニア野球協会 会長

●県政や佐倉市・酒々井町のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28
TEL.043-485-8019 FAX.043-486-1616

災害に強い千葉県づくり!

大規模災害に備えて

自民党代表・関県議 東日本大震災や令和元年房総半島台風などの大規模災害を踏まえ、防災対策の強化にどのように取り組んでいるのか。

森田知事 県では、甚大な被害をもたらした東日本大震災以降、災害時の被害を最小化する「減災」に重点を置き、学校や防災拠点等の耐震対策、堤防のかさ上げ等の津波対策、自主防災組織の育成などに取り組んでまいりました。

しかし、令和元年度房総半島台風等の一連の災害では、県の初動対応や情報収集などで、十分でない点もあったことから、その反省も踏まえて、配備基準の見直し等による初動対応の迅速化、市町村への早期情報連絡の促進や、住宅、医療と介護を一体的・継続的に提供する関係団体との連携強化、地域包括支援センターの人材育成などを推進すること、地域包括ケアシステムの構築に取り組む市町村を支援しています。

自民党代表・関県議 認

絡員派遣による情報収集体制の強化、電力会社との協定の締結による停電の早期復旧体制の整備などの取り組みを進めてまいりました。

今後も、引き続き本県の防災対策について、訓練等を通じて、不断の点検・見直しを行い、自助・共助・公助が一体となった災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいります。

要望 県民の生命、財産をしっかりと守るためにも、今後も災害対応を行う体制整備をはじめとしたソフト対策とともに、災害に強い強靱な県土を作るハード整備の両面から、災害に強い千葉県づくりに取り組み、将来の災害への備えを着実に進めていただくよう要望します。

高齢者施策の推進

自民党代表・関県議 今後、急速な高齢化の進展が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、県はどのように取り組んでいるのか。

滝川副知事 県では、地域住民による日常生活の支

援の促進や、住宅、医療と介護を一体的・継続的に提供する関係団体との連携強化、地域包括支援センターの人材育成などを推進すること、地域包括ケアシステムの構築に取り組む市町村を支援しています。

自民党代表・関県議 認

認知症と家族への支援も

知症の方やその家族を支援するため、県はどのように取り組んでいるのか。

滝川副知事 県では、認知症の方や家族を支えるため、認知症疾患医療センターにおいて、円滑な日常生活を送るための生活相談支援を実施するとともに、かかりつけ医への研修、認知症サポーターがチームを組んで

見守りや傾聴ボランティア活動を行う仕組みづくりなどに取り組んでいます。

また、今後、本人の意思や意向を尊重した支援を行うため、認知症の方や家族に対する研修の実施や、就労面での課題の多い若年性認知症の方の社会参加推進等の取り組みを進め、認知症の方や家族の支援に努めてまいります。

飼料用米への転換策

自民党代表・関県議 次に農林水産業の振興について伺います。主食用米から飼料用米への転換について、どのように推進していくのか。

滝川副知事 国では、令和3年度産米の生産調整に

向け、転換実績などに応じた従来の助成に加え、県が行ってきた転換面積の増加に対する助成にも併せて、支援を行なうこととなりました。

これを受け県では、この増

加分に対する助成をさらに拡充するとともに、継続分に対する助成単価も引き上げることにいたします。この

国と県の支援の拡充措置を広く農業者に周知していくことにより、更なる転換の促進を図ってまいります。

道路網の整備促進

自民党代表・関県議 圏央道や北千葉道路、新たな湾岸道路などの広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化に向け、どのように取り組んでいるのか。

森田知事 圏央道の大栄・横芝間については、令和6年度の開通に向け、着実に事業が進められており、1日も早い全線開通に向け、最大限努力しております。

電話de詐欺の検挙

自民党代表・関県議 電話de詐欺の犯人検挙に向けて、どのような活動を行っているのか。

楠警察本部長 県警としては、被害者宅に現金やキャッシュカードを受け取りに来るいわゆる「受け子」の検挙、犯行拠点の摘発による実行犯の検挙や上位者への突き上げ捜査、犯行の背後にいると見られる暴力団等に対する多角的な取り締まりなどを重点に行っているところであります。

電話de詐欺対策は県警

犯罪被害者支援条例

犯罪被害者とその遺族等が早期に犯罪被害から立ち直り、生活再建ができるよう、自民党は2月議会へ議員発議案で条例制定を提案しました。



防災訓練に参加する伊藤昌弘県議

自民党代表質問項目

- 1 財政問題について
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 3 自治体DXの推進について
- 4 成田空港について
- 5 災害対策について
- 6 児童虐待の防止について
- 7 東千葉メディカルセンターについて
- 8 高齢者対策の推進について
- 9 地球温暖化対策について
- 10 農林水産業の振興について
- 11 県内の幹線道路ネットワークについて
- 12 県立病院について
- 13 教育問題について
- 14 電話de詐欺について
- 15 知事の政治姿勢について
- 16 その他

要望 道路ネットワークの整備は、県内経済の活性化、災害時における緊急輸送道路の確保、県民の利便性向上などに大きな効果が期待されるものです。そればかりでなく、病

気やケガの際の救急車の搬送時間の短縮にも役立ち、このことにより救える命を増やすことが可能になるとも考えます。